

学力向上拠点形成事業（確かな学力育成のための実践研究事業）
平成17年度 中間報告 【岐阜県】

推進地域の概要（平成18年3月現在）

推進地区名	推進校（学校種、学校数）					
	岐阜市	小学校	2校	中学校	1校	計
羽島市	小学校	1校	中学校	1校	計	2校
瑞穂市	小学校	2校	中学校	1校	計	3校
大垣市	小学校	1校	中学校	1校	計	2校
美濃加茂市	小学校	3校	中学校	1校	計	4校

研究のねらい

県教育委員会と「確かな学力育成のための実践研究推進地区」との連携・協力の下、地域の実情や課題に即した「確かな学力」の育成のための実践研究を実施し、その成果の普及を図ることにより、一人一人に「生きる力」をはぐくむ岐阜県教育の質の向上に資する。

研究の概要

（1）事業の概要

- ・ 県教育委員会の実施した学習状況調査や国立教育政策研究所で実施の「教育課程実施状況調査」の結果等において得られた教育課題（思考力や表現力）を踏まえ、少人数指導等の指導法の改善や授業改善、教員の指導力向上を図ることにより、「確かな学力」（知識や技能に加え、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力など）の向上を図るための実践研究を行う。
- ・ 各推進地区独自の教育課題の解決のための実践研究の推進の指導・助言を行う。

〔各推進地区の実践内容〕

<p>〔岐阜市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自ら学ぶ意欲」と「学習習慣の育成」 ・ 「基礎学力の確実な定着」 ・ 「考える力」「表現する力」「応用する力」「問題解決する力」の育成 <p>岐阜市「学力向上プラン『わくわく授業』」に沿って実施（指導内容と指導法改善）</p> <p>課題別学校群（少人数指導、学ぶ意欲・学び方・学習集団づくり、表現力の育成、情報教育）</p>

<p>〔羽島市〕 「授業改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導 ・ 主体的な学習を身に付けるための指導 <p>「学びの自立へのサポート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びへの意欲を育てる指導援助
<p>〔瑞穂市〕</p> <p>望ましい学習習慣を身に付ける指導援助時代の変化に対応してたくましく生き抜ける「確かな学力」を備えた児童生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「確かな学力」を育成するための教科・領域等における指導法の究明 ・ 「学力」の評価方法の究明及び評価結果の分析による「学力」の課題の明確化 ・ 各推進校における学力向上プランづくりの在り方の究明 <p>瑞穂市「学力向上アクションプラン」に沿って実施</p>
<p>〔大垣市〕</p> <p>小中一貫した確かな学力を身につけさせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の学力の実態を踏まえた授業改善の在り方 ・ 連携協力（小中一貫教育・学習チューター等）の在り方 ・ 自学学習力の育成の在り方 <p>大垣市「学力向上推進事業」に沿って実施</p>
<p>〔美濃加茂市〕</p> <p>生きて働く真の学力をつけるための「授業改革」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の徹底と確かな学力の育成 ・ 個性の一層の伸長 ・ 各教科における「学び方」の習得を共通課題として「磨きあう授業づくり」「みのかも教育 21『FROM 0歳プラン』」の重点2「授業改革」に沿って実施

（２）研究の実施体制

- ・ 教育振興事務所は、県の指定校であることを十分理解して対応する。（少なくとも年に1回は指定校に係る訪問を考える。）また、要請訪問、学校経営訪問を利用して、各推進校・協力校に対して、「学力のとらえとその分析、それを受けての授業改善、成果の蓄積」について指導する。
- ・ 学校支援課は、市教育委員会の求めに応じて、少なくとも年1回は訪問する。
- ・ 学校支援課は、教育振興事務所の推進校や市教委の訪問の情報を一元化し、その訪問を通して、事業内容に関する支援ができるように、事務所主事と連絡をとる。また、進捗状況を把握し、指導に生かす。
- ・ 学校支援課担当主事による打合せを行い、5つの推進地区の現状と課題を交流するとともに、教育振興事務所・市教育委員会に対する指導内容の共通理解を行う。
- ・ 各市教育委員会は、各事業実施計画書にしたがって事業を行う。

（３）研究のスケジュール

- ・ 学校支援課と教育振興事務所が連携し、各推進地区の現状と課題を把握し、各市の実態に応じて指導・援助を行う。
- ・ 指定3年間の見通しをもつことができるようにする。（1年目：運営組織・取組

内容の整理、2年目：推進校を中心とした取組、3年目：推進地区が主体となる取組など)

- ・ 市の課題と各推進校の課題が結び付いており、各校がどのような学力を育てようとしているのか明確にする。また、各校の課題と直結する研究内容にする。
- ・ 即時性のある成果の公表の仕方を考える。

(4) 情報の共有化・普及

ア 各推進地区による会議、各推進校における公表会等

- ・ 市主催の学力推進委員会や協議会などで、推進校、協力校の実践を交流する。(全市)
- ・ 自主発表会や公表会を開き、成果を冊子やインターネット等で示す。(岐阜市、羽島市、瑞穂市、美濃加茂市)
- ・ 市の学力推進委員会を推進校で行い、公開授業を通して成果を公表する。会議の内容については、インターネットで公表する。(大垣市)

イ 連絡協議会

- ・ 各市の学力向上施策の交流を通して、本事業の趣旨に基づいた取組が適切にできるようにするため、年間2回、連絡協議会を行った。

[第1回 連絡協議会]

【目的】

- ・ 本事業の趣旨説明と各市独自の学力向上施策の交流により、本事業の趣旨に基づいた取組が適切にできるようにする。
- ・ 支出委任による所要経費の執行の流れを説明することにより、事業経費の適切な執行ができるようにする。

【日時】

平成17年8月23日(火) 13:00~15:00

【場所】 岐阜県総合教育センター 132研修室

【参加者】 13人

教育振興事務所担当主事(岐阜1・西濃1・可茂1)

市教育委員会担当(岐阜1・羽島1・瑞穂2・大垣1・美濃加茂1)

学校支援課(課長・総括・担当主事1) 研修管理課(1)

【日程】

学校支援課長挨拶

本事業の趣旨説明

支出委任事業経費執行の取扱いについての説明

各市教育委員会の事業実施計画の説明

[第2回 連絡協議会]

【目的】

- ・ 本事業の趣旨の確認と各市独自の学力向上施策の交流により、本事業の趣旨に基づいた来年度に向けての見通しをもつことができるようにする。

- ・ 支出委任による所要経費の執行についての確認により、事業経費の適切な執行ができるようにする。

【日時】 平成18年2月22日(水) 9:30~12:00

【場所】 岐阜県総合教育センター 211研修室

【参加者】 21人

教育振興事務所担当主事(岐阜4・西濃1・可茂1)

市教育委員会担当(岐阜1・羽島1・瑞穂2・大垣1・美濃加茂2)

学校支援課(課長・総括・担当主事6)研修管理課(1)

【日程】

学校支援課長挨拶

本事業の趣旨・推進計画の確認

各市教育委員会の事業実施報告

質疑・応答

ウ 学力向上拠点事業ホームページ

- ・ 各市のイントラネットによる情報提供、インターネットによる情報提供を行い、教員の指導力の向上、研究情報の共有化及び研究の成果等の普及を図る。

「学力向上推進協議会」、「情報提供体制検討委員会」について

- ・ 岐阜県独自の事業である「学力向上プロジェクト」における「学力向上推進会議」において、確かな学力を身に付けさせるための授業や指導方法の工夫・改善等の実践研究の成果等の検証を行う。
- ・ 上記の会において、情報提供体制についても検討し、実践研究の成果等を広く普及する。

〔第1回 平成17年6月21日(火) 10:00~12:00〕

【参加者】

委員 学識経験者、校長経験者、保護者代表者

事務局 学校支援課長、学校支援課教育主幹、学校支援課課長補佐14人

【協議内容】

成果の検証と情報提供体制

- ・ 県の学力状況調査の結果を参考にして事業を進めること。
- ・ 各市が課題としていることを研究して成果があがるようにすること。
- ・ 5つの市が研究成果を交流する機会をもつこと。
- ・ 県の事業とともに、本事業の成果を広報して広めていくこと。

〔第2回 平成18年2月27日(月) 10:00~12:00〕

【参加者】

委員 委員 学識経験者、校長経験者、保護者代表者

事務局 学校支援課長、学校支援課教育主幹、学校支援課課長補佐16人

【協議内容】

成果の検証と情報提供体制

- ・ 学力向上のため学校を指定するものは今までであったが、地域を指定するのは新しい事業である。しかし、前向きに取り組む学校もあれば、そうでない学校もあり、推進する上で困難もあるだろう。
- ・ 課題別に学校群を組んだり、中学校区で取り組んだりするなど、市独自の取組をしている。それぞれの方式のメリット、デメリットを明らかにして、他の市町村の参考になるようにしていただきたい。
- ・ インターネットによる情報提供もよいが、公表会などで、保護者や地域の人に学校での児童生徒の姿を見ていただくことができる機会も設けてもらいたい。

成果と課題

(1) 推進地域の成果と課題

学校支援課と各教育振興事務所が連携した指導体制が確立し、市の取組に対して積極的に指導・助言をすることができた。

学校支援課担当が5市の現状と課題を交流し、市の取組に適した指導内容を検討することにより、市の主体性を大切にした指導を行うことができた。

各推進地区において、推進校を拠点とした研究体制が明確になった。

各推進地区において拠点となる推進校が研究、情報提供のイニシアティブをとることができるようにする。そのため、研究構想図を改善し、推進校が中心となって研究、情報提供できるように位置付けを明確にするとともに、推進校からの情報提供の機会を市の主催する会議に設定する。また、教育事務所、市教委による推進校訪問を通して、推進校の研究について指導する。

市の学力向上に関連した会議（課題となる学力の設定と検証、情報提供体制を考える会議）と学校が主体となる会議（研究主任会、教務主任会、中学校区の会議、校内研究会など）の目的とつながりが明確でない。そのため、会議前に、会議の具体的な目標を設定するとともに、会議で交流、提示された内容をどこでどのように生かしていくのかといった手だてと方向を明確に持つことができるよう指導する。また、会議と会議のつながりが明確になるよう研究構想図を改善する。

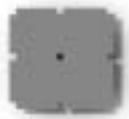

各市の課題となる学力の把握、その力を身に付けた児童生徒の姿を具体化し各校が共通理解すること、児童生徒の変容をつかみ、指導の改善に生かすための評価の在り方、客観的なデータの収集の在り方が明確でない。そのため、訪問指導等で、PDCA各段階に応じた指導を行う。


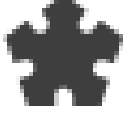
測定可能な具体的目標になるように指導する。


目標達成のための手だてが明確になるよう指導する。

変容を把握する場と方法を明確にもつことができるよう指導する。

(2) 推進地区の成果と課題

推進地区	実践研究内容	成果と課題
<p>岐阜市</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自ら学ぶ意欲」と「学習習慣の育成」 ・ 「基礎学力の確実な定着」 ・ 「考える力」「表現する力」「応用する力」「問題解決する力」の育成 <p>岐阜市「学力向上プラン『わくわく授業』に沿って実施(指導内容と指導法改善)</p> <p>課題別学校群(少人数指導、学ぶ意欲・学び方・学習集団づくり、表現力の育成、情報教育)</p>	<p>「学力向上プラン『わくわく授業』」の課題について推進校が取り組み、課題別学校群に属する協力校と実践を交流し、成果を普及することができた。</p> <p>市担当主事が課題別学校群の指導・助言を行っており、市としての指導体制が確立している。</p> <p>経年比較が可能な定量的なデータで成果が検証できるようにする。</p> <p>推進校が実践内容において課題別学校群の中心となるとともに、協力校との情報交流等、一層の連携を図るようにする。</p>
<p>羽島市</p> 	<p>「授業改善」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導 ・ 主体的な学習を身に付けるための指導 <p>「学びの自立へのサポート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びへの意欲を育てる指導援助 ・ 望ましい学習習慣を身に付ける指導援助 	<p>市教委の主体的、積極的な取組により、推進校・協力校の本事業に対する理解が深まり、連携して取り組むことができつつある。推進校が率先して実践研究に取り組み、協力校の参考となる実践の提供に努めている。</p> <p>全学校に共通する8観点を定めたことにより、各学校が主体的に実践し、成果を学び合うことができつつある。</p> <p>研究主任中心の授業改善部、教務主任中心の学びの自立へのサポート部の2部会を中心として、市の力を結集して事業全体を推進できるような組織が確立された。</p>

		<p>拠点校・推進校の取組の精選及び取組内容の具体化と実践の積み上げができるようにする。</p> <p>児童生徒の変容をつかみ、指導の改善に生かすための評価の在り方、客観的なデータの収集の在り方を検討する。</p> <p>推進校が目指す各教科や各場面等における児童生徒の姿の具体化とそのための改善の手だての具体化を行う。</p>
<p>瑞穂市</p> 	<p>時代の変化に対応してたくましく生き抜ける「確かな学力」を備えた児童生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「確かな学力」を育成するための教科・領域等における指導法の究明 ・ 「学力」の評価方法の究明及び評価結果の分析による「学力」の課題の明確化 ・ 各推進校における学力向上プランづくりの在り方の究明 <p>瑞穂市「学力向上アクションプラン」に沿って実施</p>	<p>各校の創意工夫を生かし特色ある教育・特色ある学校づくりと確かな学力の向上に取組んでいる。</p> <p>市教育委員会の指導性のもと、独自の「学力向上アクションプラン」等を策定し、主体的な取組を推進している。</p> <p>瑞穂市全学校が公表会を実施するとともに、推進校の実践を他校に広める取組が確立している。</p> <p>市や学校の実態を基に「どんな力こそ必要なのか」を描き、学力の高まりを具体的にとらえていく。</p>
<p>大垣市</p> 	<p>小中一貫した確かな学力を身につけさせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の学力の実態を踏まえた授業改善の在り方 ・ 連携協力(小中一貫教育・学習チューター等)の在り方 ・ 自学学習力の育成の在り方 <p>大垣市「学力向上推進事業」に沿って実施</p>	<p>小中一貫した学力向上についての教職員の意識化を図りながら、課題を明らかにしようとしている。</p> <p>会議等の情報をホームページ等で迅速に発信している。</p> <p>中学校校区の児童生徒の課題を踏まえ、共通で目指す具体的な目標を子どもの姿で明確にし、検証の方法を明確にする。</p>

		<p>研究を推進していく市教育委員会主催の委員会と各学校との連携を図る仕組みを構築する。</p>
<p>美濃加茂市</p> 	<p>生きて働く真の学力をつけるための「授業改革」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎基本の徹底と確かな学力の育成 ・ 個性の一層の伸長 ・ 各教科における「学び方」の習得を共通課題として「磨きあう授業づくり」 <p>『みのかも教育 21 FROM 0歳プラン』の重点2「授業改革」に沿って実施</p>	<p>市が独自に行ってきた児童生徒の学習状況等の分析から市としての研究主題を明らかにするとともに、その研究主題を具現するための学校群の位置付け、学校群の研究主題及び各校の研究内容の明確化等、市全体の研究体制が整った。</p> <p>市の研究推進の中核となる学力向上推進会議が運営され、来年度に向けて各学校群の推進校と協力校の役割を明確にすることができた。(児童生徒の実態をもとに推進校が具体的な指導法等を提案し、それを協力校が実践を基に検証し、成果や指導法の改善案を提案する。)</p> <p>評価委員会と学力向上推進委員会の関係をより明確にしていく。</p> <p>各校で目指す児童生徒の姿をより具体化し、それらについて校内及び学校群内等で共通理解を図るとともに、目指す姿を具現するための校内の研究体制を整える。</p>